

2020年3月期 決算概況

2020年5月26日



① 19年度の成果と 最新の取り組み

19年度

Television (地上波)

年度視聴率 2位を堅持



2019年度世帯平均視聴率

(2019/4/1~2020/3/29)

	テレビ朝日			日本テレビ	TBS	フジテレビ	テレビ東京
全日	②	7.7	±0.0	① 7.9 +0.1	③ 6.0 -0.2	④ 5.7 ±0.0	⑤ 2.6 -0.1
GH	②	10.8	+0.3	① 11.6 -0.3	③ 9.1 -0.9	④ 8.8 +0.2	⑤ 6.0 -0.3
PT	②	11.0	+0.4	① 11.2 -0.3	③ 9.1 -0.8	④ 8.0 +0.1	⑤ 5.5 -0.4
PT2	②	5.2	-0.3	① 6.4 -0.1	③ 4.2 -0.3	④ 3.7 -0.1	⑤ 2.4 -0.1

※ ○の数字は民放順位、右側の数字は前期比

(出典:ビデオリサーチ)

【12月】 月間平均 全日・G・P 3冠獲得！

【19年度】 全日 52週中 19回トップ獲得！

【19年度】 G帯 52週中 8回トップ獲得！

【19年度】 P帯 52週中 21回トップ獲得！

19年度

開局60周年コンテンツ コンテンツ制作力のさらなる強化



10月クール平均 14.8%
1月クール平均 14.8%



10月クール平均 18.5%



通年放送
年度平均 11.6%

白い巨塔
(19/5/22～26放送)

5夜平均 13.3%



通年放送
年度平均 5.0%

天空の
ヒマラヤ部族
(20/3/8放送)

世帯視聴率 13.9%



劇場版おっさんずラブ
興収26億円突破！

20年度

Television (地上波)

プライム帯4月編成

月 火 水 木 金 土 日

18時台							ナニコレ 珍百景
19時台	帰れマンデー 見つけ隊！！	今でしょ！ 講座	あいつ今 何してる？	ハナタカ！ 優越館	ザワつく！ 金曜日	博士ちゃん	
20時台	10万円で できるかな	これって私だけ？ (ABC)	ミラクル9	警視庁・ 捜査一課長	かりそめ天国	池上彰の ニュースそう だったのか！！	ポツンと 一軒家 (ABC)
21時台	Qさま！！	トリニクって 何の肉！？ (ABC)	特捜9	BG ～身辺警護人～	ミュージック ステーション	サタデー ステーション	日曜プライム
22時台	報道ステーション					22:10 激レアさんを 連れてきた。	
23時台	23:15 かみひとえ	23:15 ロンドンハーツ	23:15 家事ヤロウ!!!	23:15 アメトーーク！	23:15 家政婦の ミタゾノ	23:15 M 愛すべき 人がいて	23:00 関ジャム 完全燃SHOW

バラエティー改編

ドラマ改編

19年度

20年度

Internet



3領域を中心に収益最大化を目指す



TELASA

4月7日サービス開始

SVOD



AVOD

キャッチアップ

Ultra Impression

- 19年7月 本格営業開始
- デジタル動画広告配信PF

ABEMA

開局4周年

19年度

20年度

Internet



ABEMA

- WAU: 目標の1千万を複数回達成！
- アプリDL: 開局4年で5,000万突破！
- 有料会員: 「ABEMAプレミアム」加入者増
- コンテンツ強化: 地上波との連携強化推進
- ABEMA NEWS: 災害や新型コロナウイルス関連ニュースなど迅速に提供。“何かあったらすぐABEMA”と視聴者のライフライン的メディアへの成長に貢献！

AVOD (キャッチアップ)

- TVerを中心にユーザー数が増加傾向
- MAU(マンスリー・アクティブ・ユーザー) 3月に初の1千万超え！
- さらなる成長と収益拡大を目指す

19年度

20年度

Internet

TELASA

- 20年4月7日 サービス開始
- KDDI社との協業「ビデオパス」をリニューアル
- 当社地上波番組を中心に海外ドラマやオリジナルコンテンツ、独占コンテンツを提供(月額562円)
- SVODサービスの本店機能として顧客との接点、マネタイズの選択肢を広げることを目指す

Ultra Impression

- 19年7月 本格営業スタート
- 「テレ朝キャッチアップ」や「ABEMAビデオ」内の広告枠セールスをおこなう
- くわえてABCテレビが展開するキャッチアップサービスへの広告配信もスタート！

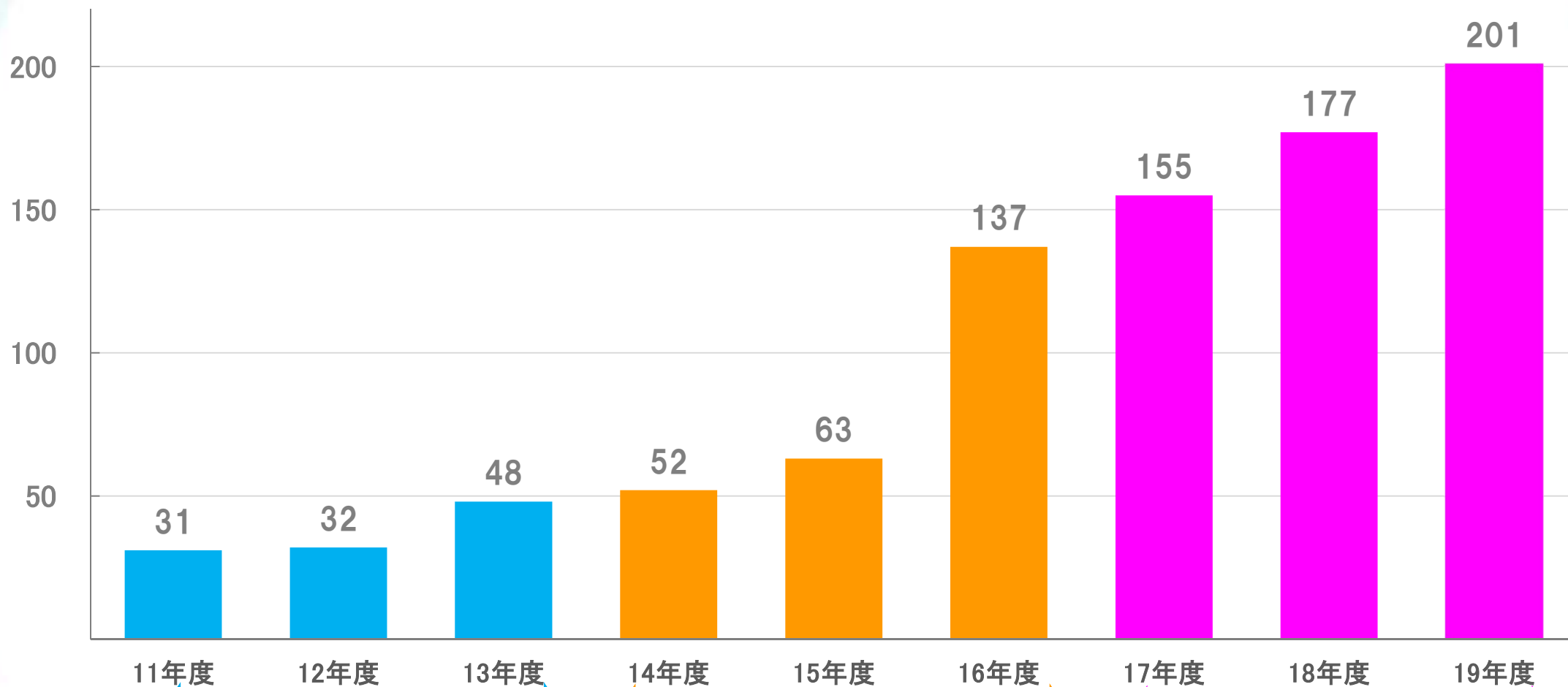
19年度

Internet



インターネット関連収入 大きく成長

(億円)



digital 5 ビジョン

< 経営計画 2011-2013 >

digital 5 ビジョン

2ndステージ 2014-2018

テレビ朝日 360°

19年度

20年度



新型コロナウイルス感染拡大の影響

事業への 主な影響

- テレビ広告需要の急激な低迷
- ドラマ・バラエティ番組の収録中止
- 「夏祭り」の開催中止
- 主催イベントの開催中止および延期
- 出資映画の公開延期（ドラえもん、クレヨンしんちゃん）

放送継続に 向けた 取り組み

- 時差出勤・テレワークの実施
- 本社屋全館の消毒実施
- 手洗い励行、マスク着用の徹底

業績予想 (2020年度)

- 現段階での業績予想 ⇒ 【未定】
- コロナウイルス感染拡大に伴う影響を現時点で合理的に算定することが困難
- 業績予想の開示が可能となった段階で速やかに予想値をアップデートする

配当予想 (2020年度)

- 年間配当金(予想) 1株当たり40円
- 当社配当方針(安定配当)に従い、前年と同額の40円を維持する方針

② 19年度業績 概況

(単位: 百万円)

	2018年度	2019年度	前期比	増減率
売上高	301,744	293,638	△ 8,105	△ 2.7%
テレビ放送事業	250,581	239,283	△ 11,297	△ 4.5%
音楽出版事業	9,863	9,867	+ 4	+ 0.0%
その他事業	54,344	58,388	+ 4,043	+ 7.4%
調整額	△ 13,045	△ 13,900	△ 855	—
営業利益	16,164	12,565	△ 3,599	△ 22.3%
テレビ放送事業	11,812	7,000	△ 4,812	△ 40.7%
音楽出版事業	819	1,018	+ 198	+ 24.2%
その他事業	3,564	4,598	+ 1,034	+ 29.0%
調整額	△ 32	△ 51	△ 19	—
経常利益	19,097	32,048	+12,951	+ 67.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,879	26,398	+13,518	+ 105.0%

(単位: 百万円)	2018年度	2019年度	前期比	増減率
売上高	250,581	239,283	△11,297	△ 4.5%
タイム収入	86,401	84,066	△ 2,334	△ 2.7%
スポット収入	101,538	92,494	△ 9,044	△ 8.9%
番組販売収入	12,975	13,168	+ 193	+ 1.5%
BS・CS収入	26,844	26,110	△ 733	△ 2.7%
その他収入	22,821	23,443	+ 621	+ 2.7%
営業利益	11,812	7,000	△ 4,812	△40.7%

増減要因

市況の低迷に伴う広告収入(タイム・スポット)の減少により大幅な減収減益となった。

タイム収入(地上波)

(単位: 百万円)	2018年度	2019年度	前年同期比	増減率
1Q	22,271	20,777	△ 1,493	△ 6.7%
2Q	21,688	20,779	△ 908	△ 4.2%
上期	43,959	41,557	△ 2,402	△ 5.5%
3Q	21,506	22,759	+ 1,253	+ 5.8%
4Q	20,935	19,749	△ 1,185	△ 5.7%
下期	42,441	42,508	+ 67	+ 0.2%
通期	86,401	84,066	△ 2,334	△ 2.7%

増減要因

前期にあった大型スポーツ番組(ロシアW杯など)の反動に
 かわえ、アドバタイザーの固定費を削減する動きの影響を強く
 受け減収となった。

スポット収入(地上波)

(単位: 百万円)	2018年度	2019年度	前年同期比	増減率
1Q	24,405	22,869	△ 1,535	△ 6.3%
2Q	22,361	20,553	△ 1,808	△ 8.1%
上期	46,766	43,422	△ 3,343	△ 7.1%
3Q	27,976	24,899	△ 3,077	△ 11.0%
4Q	26,795	24,172	△ 2,623	△ 9.8%
下期	54,772	49,071	△ 5,700	△ 10.4%
通期	101,538	92,494	△ 9,044	△ 8.9%

増減要因

- インターネット広告急伸の影響を受けたことにくわえ、4Qからはコロナウイルス感染拡大の影響などもあり大幅減収
- 東京地区投下量シェア: 22.6%
(前期比△0.6%)

番組制作費(地上波)

(単位:百万円)	2018年度	2019年度	前年同期比	増減率
1Q	23,026	21,046	△ 1,979	△ 8.6%
2Q	21,889	20,721	△ 1,167	△ 5.3%
上期	44,916	41,768	△ 3,147	△ 7.0%
3Q	20,102	21,209	+ 1,107	+ 5.5%
4Q	22,387	21,844	△ 543	△ 2.4%
下期	42,489	43,054	+ 564	+ 1.3%
通期	87,406	84,823	△ 2,583	△ 3.0%

増減要因

前期にあった大型スポーツ番組(ロシアW杯など)の反動があったことにくわえて、コストコントロールに努めたことなどから減少した。



(単位: 百万円)	2018年度	2019年度	前期比	増減率
売上高	9,863	9,867	+ 4	+ 0.0%
営業利益	819	1,018	+ 198	+ 24.2%

増減要因

ケツメイシなど所属アーティストの全国ツアーなどが貢献し増収増益となった。

その他事業

(単位: 百万円)	2018年度	2019年度	前期比	増減率
売上高	54,344	58,388	+ 4,043	+ 7.4%
営業利益	3,564	4,598	+ 1,034	+ 29.0%

<主なその他事業収入>

(単位: 百万円)

	2018年度	2019年度	前期比	増減率
インターネット	17,755	20,124	+ 2,369	+ 13.3%
ショッピング	9,582	10,732	+ 1,150	+ 12.0%
イベント	6,578	7,237	+ 658	+ 10.0%
機器販売・リース料	5,551	6,082	+ 531	+ 9.6%
出資映画	2,207	1,996	△ 210	△ 9.6%
DVD	1,907	1,212	△ 695	△ 36.4%



その他事業 主な増減要因

インターネット	● SVODプラットフォーム向けのコンテンツ販売やテレ朝キャッチアップといったキャッチアップサービスが好調で大幅な<u>増収増益</u>
ショッピング	● 消費増税等あったもののテレビショッピングが堅調に推移し<u>増収</u> ● 一方、送料等通販に関連するコスト増の影響などで<u>減益</u>
イベント	● 開局60周年記念イベントなど好調で<u>増収</u> ● 一方、台風の影響で「テレビ朝日ドリームフェスティバル2019」の一部公演が中止となったことなどが影響し<u>減益</u>となった。
出資映画	● 「劇場版おっさんずラブ」などのヒットはあったが、3月公開予定の「劇場版ドラえもん」が新型コロナウイルス感染拡大の影響で公開延期(8月公開に延期)となったことなどにより<u>減収減益</u>
DVD	● 前期にあったドラマ「おっさんずラブ」などヒットタイトルの反動にくわえ、DVD市場全体の低迷などにより<u>減収減益</u>

設備投資と減価償却費

設備投資

(単位: 億円)

	2018年度	2019年度	前期比	増減率	2020年度 (予想)
連結	146.1	174.4	+28.3	+19.4%	151.0
テレビ朝日	135.5	153.6	+18.1	+13.4%	138.0

減価償却費

(単位: 億円)

	2018年度	2019年度	前期比	増減率	2020年度 (予想)
連結	103.5	108.0	+4.5	+ 4.4%	【未定】
テレビ朝日	88.9	91.3	+2.7	+ 2.7%	

増減要因

- 【19年度】放送設備等の更新が重なったことなどから設備投資額および減価償却費は前期に比べて増加した。
- 【20年度】業績予想が「未定」のため、償却費予想も現時点で未定。

資料に記載されている当社の計画、見通しなどのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から作成されたものであり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。

実際の業績は様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

Homepage Address <http://www.tv-asahi.co.jp/contents/IR/index.html>

IRホームページの充実にも努めております。ぜひ一度ご覧ください。

